

＜東文研・ASNET共催セミナー＞

『世説新語補』から読み解く江戸時代

せせつしんごほ



江戸時代、民衆や官僚のあいだで、また私塾のなかで『世説新語補』を読むことが大流行しました。

なぜ、この時期に『世説新語補』の購読がブームになったのでしょうか。

また、この時代に『世説新語補』はどのように読まれたのでしょうか。

この報告では江戸時代の漢学や歴史教育、印刷技術（書物の出版情況）との関係から考えてみます。

◆日 時： 2013年 11月 7日（木）17:00-18:00

◆報告者 劉 家幸 氏（東洋文化研究所 訪問研究員）

◆会 場： 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

◆参加費： 無料（申し込みは不要です）

東文研・ASNET共催セミナー

東洋文化研究所とASNETは毎週木曜日の夕方にセミナーを開催しています。どなたでもご参加頂けます。皆様のお越しをお待ちしております。詳しくはこちら：<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

東大ASNET

検索

東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

